



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 三精輸送機株式会社

コード番号 6357 URL <http://www.sanseivusoki.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中川 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長

(氏名) 薦田 三千雄

TEL 06-6385-5621

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,191	16.4	332	278.8	413	77.0	32	△84.7
24年3月期第2四半期	5,319	△2.7	87	△81.1	233	△56.7	213	△7.8

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △288百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	1.85	—
24年3月期第2四半期	13.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
25年3月期第2四半期	28,306	—	22,112	—	78.1	1,201.58
24年3月期	25,401	—	21,696	—	85.4	1,336.96

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 22,112百万円 24年3月期 21,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,700	7.4	900	△7.1	1,000	△14.4	350	△48.9	19.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社テルミック、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	19,332,057 株	24年3月期	19,332,057 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	928,899 株	24年3月期	3,103,982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	17,678,129 株	24年3月期2Q	16,228,469 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業的前提に関する注記	1 1
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	1 1
(6) 重要な後発事象	1 1

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要など景気回復の兆しはみられたものの、海外経済の低迷や円高の影響から、依然として先行きの不透明感が拭えないまま推移致しました。

このような環境下、当社グループは舞台機構・遊戯機械・昇降機の3事業分野で、業績の向上に全力で取り組み、又、7月に買収しました株式会社テルミックの第2四半期業績への寄与もあり、売上高は6,191百万円（前年同期比16.4%増）と増収、営業利益は332百万円（同278.8%増）、経常利益は413百万円（同77.0%増）とそれぞれ増益となりましたが、投資有価証券評価損159百万円が生じたことにより四半期純利益は32百万円（同84.7%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

製品製造関連

製品製造関連の売上高は2,601百万円（同38.8%増）、セグメント利益は307百万円（同50.3%増）となりました。遊戯機械部門が前期までの大口工事完工により前年同期比では減収となったものの、舞台機構部門及び昇降機部門の採算改善や当第2四半期連結累計期間より株式会社テルミックを製品製造関連のセグメントに加えたことにより、前年同期比では増収増益となりました。

保守改修関連

保守改修関連は、上期中に大型改修工事が完工したことにより、売上高は3,453百万円（同4.4%増）となり、セグメント利益は356百万円（同65.8%増）となりました。

その他

その他の売上高は136百万円（同0.3%増）となり、セグメント利益は58百万円（同13.0%増）となりました

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,294百万円減少し11,940百万円となりました。これは主に、仕掛品が215百万円、現金及び預金が185百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,699百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4,199万円増加し16,365百万円となりました。これは新規連結子会社として株式会社テルミックが加わり、有形固定資産で、建物及び構築物（純額）673百万円、土地1,153百万円、その他（純額）739百万円が増加し、無形固定資産で、のれんが1,696百万円増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ2,904百万円増加し28,306百万円となりました。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ349百万円増加し2,738百万円となりました。これは主に、新規連結子会社の増加に伴い1年内返済予定の長期借入金437百万円、1年内償還予定の社債174百万円が増加したことと、支払手形及び買掛金が215百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,139百万円増加し3,455百万円となりました。これは主に新規連結子会社の増加に伴い社債479百万円、長期借入金1,437百万円が増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,488百万円増加し6,193百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ416百万円増加し、22,112百万円となりました。これは主に利益剰余金が306百万円、その他有価証券評価差額金が312百万円減少したものの、自己株式が1,043百万円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ494百万円減少し5,103百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ31百万円増加し1,787百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益255百万円に加え売上債権の減少による収入2,526百万円があったものの、仕入債務の減少による支出436百万円、法人税等の支払265百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ48百万円減少し1,998百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,178百万円、定期預金の預入による支出（純額）680百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ127百万円増加し284百万円となりました。これは主に、配当金の支払113百万円、長期借入金の返済による支出69百万円、社債の償還による支出45百万円、短期借入金の純減額による支出50百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間末より、株式会社テルミックを連結の範囲に含めたことにより、業績予想を修正しております。なお、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理を行っております。今後、取得原価の配分の完了等により、修正の必要が生じた場合は、すみやかに開示致します。

現時点における連結通期予想は以下のとおりです。（括弧内は%表示は、対前期比増減率）

売上高	14,700百万円（7.4%）
営業利益	900百万円（△7.1%）
経常利益	1,000百万円（△14.4%）
当期純利益	350百万円（△48.9%）

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

株式会社テルミックは、株式取得及び株式交換により完全子会社となったため、第1四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

②原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債に繰延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,638,359	5,823,823
受取手形及び売掛金	5,953,713	4,254,383
有価証券	809,305	608,780
仕掛品	272,475	488,260
原材料及び貯蔵品	269,860	278,682
その他	302,324	491,672
貸倒引当金	△10,248	△4,608
流動資産合計	13,235,789	11,940,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,985,531	3,659,196
土地	2,615,073	3,768,944
その他(純額)	356,900	1,096,627
有形固定資産合計	5,957,504	8,524,768
無形固定資産		
のれん	358,765	2,055,038
その他	93,096	119,073
無形固定資産合計	451,862	2,174,111
投資その他の資産		
投資有価証券	4,631,192	4,228,272
その他	1,135,604	1,448,335
貸倒引当金	△10,436	△10,010
投資その他の資産合計	5,756,360	5,666,598
固定資産合計	12,165,727	16,365,479
資産合計	25,401,517	28,306,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,122,005	906,815
1年内償還予定の社債	—	174,600
1年内返済予定の長期借入金	—	437,782
未払法人税等	212,400	213,192
前受金	246,320	187,634
賞与引当金	308,104	330,554
役員賞与引当金	30,000	—
工事損失引当金	52,788	47,318
その他	417,372	440,391
流動負債合計	2,388,991	2,738,290
固定負債		
社債	—	479,200
長期借入金	—	1,437,693
長期未払金	374,399	372,399
退職給付引当金	822,168	1,014,348
その他	119,661	151,654
固定負債合計	1,316,228	3,455,295
負債合計	3,705,220	6,193,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,989,057	2,989,057
利益剰余金	16,714,458	16,408,410
自己株式	△1,510,037	△466,704
株主資本合計	21,444,757	22,182,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251,538	△61,268
繰延ヘッジ損益	—	△7,886
その他の包括利益累計額合計	251,538	△69,154
純資産合計	21,696,296	22,112,888
負債純資産合計	25,401,517	28,306,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,319,722	6,191,886
売上原価	4,040,064	4,319,540
売上総利益	1,279,658	1,872,346
販売費及び一般管理費	1,191,864	1,539,780
営業利益	87,794	332,566
営業外収益		
受取利息	29,547	18,516
受取配当金	42,668	36,895
保険配当金	59,092	12,327
その他	17,268	29,141
営業外収益合計	148,576	96,880
営業外費用		
支払利息	—	10,181
支払手数料	2,865	2,865
その他	—	3,047
営業外費用合計	2,865	16,094
経常利益	233,505	413,351
特別利益		
固定資産売却益	—	861
特別利益合計	—	861
特別損失		
固定資産除却損	—	6
投資有価証券評価損	9,802	159,155
特別損失合計	9,802	159,162
税金等調整前四半期純利益	223,702	255,050
法人税等	10,086	222,405
少数株主損益調整前四半期純利益	213,616	32,645
四半期純利益	213,616	32,645

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	213,616	32,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,531	△312,807
繰延ヘッジ損益	△2,269	△7,886
その他の包括利益合計	△168,801	△320,693
四半期包括利益	44,814	△288,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,814	△288,048
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	223,702	255,050
減価償却費	134,732	226,899
のれん償却額	19,931	63,936
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,325	△75,549
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,000	△30,000
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△43,788	△5,469
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,671	42,402
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,015	△6,066
受取利息及び受取配当金	△72,215	△55,412
支払利息	—	10,181
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,802	159,155
固定資産売却損益 (△は益)	—	△861
固定資産除却損	—	6
売上債権の増減額 (△は増加)	2,123,483	2,526,426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△158,389	△184,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	△419,671	△436,361
前受金の増減額 (△は減少)	351,700	△58,686
未払消費税等の増減額 (△は減少)	34,191	△50,936
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	23,742
その他の資産の増減額 (△は増加)	△173,114	△138,221
その他の負債の増減額 (△は減少)	△126,970	△260,746
小計	1,861,724	2,005,269
利息及び配当金の受取額	72,450	57,977
利息の支払額	—	△10,181
法人税等の支払額	△177,888	△265,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,756,286	1,787,752

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,118	△990,013
定期預金の払戻による収入	270,200	310,000
有価証券の取得による支出	△400,149	△129
有価証券の売却及び償還による収入	600,000	—
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△458,920
投資有価証券の売却及び償還による収入	300,000	400,950
子会社株式の取得による支出	△2,347,300	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,178,113
有形固定資産の取得による支出	△18,502	△60,076
有形固定資産の売却による収入	—	1,266
無形固定資産の取得による支出	△11,629	△12,012
貸付けによる支出	△11,725	△8,360
貸付金の回収による収入	3,060	11,749
その他	—	△14,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,046,163	△1,998,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	—	△69,052
社債の償還による支出	—	△45,800
リース債務の返済による支出	△2,605	△5,939
自己株式の取得による支出	△90	△57
配当金の支払額	△113,653	△113,337
少数株主への配当金の支払額	△40,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,350	△284,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△446,227	△494,548
現金及び現金同等物の期首残高	6,080,823	5,597,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,634,596	5,103,437

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年7月2日に当社を完全親会社、株式会社テルミックを完全子会社とする株式交換により自己株式を交付し、平成24年5月31日をみなし取得日として会計処理を行っております。

この結果、自己株式が1,043百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は466百万となっております。

(6) 重要な後発事象

S&S Worldwide, Inc. (本社：アメリカ合衆国ユタ州、以下「S&S」といいます)の株式追加取得について

(取引の概要)

Sansei Technologies Inc. (本社：アメリカ合衆国カリフォルニア州、当社100%子会社)を通じてS&Sの株式226,379株を取得、子会社化することと致しました。

(本取引の目的)

当社は、舞台機構・遊戯機械・昇降機の3事業をコアに、受注から製作、施工、メンテナンスまで一貫して手掛けておりますが、事業環境の大きな変化を踏まえ、事業領域の拡大やグローバル化を進めることで、お客様のニーズにしっかりと応え、成長戦略を実現していくことを目指しております。

S&Sは、アメリカ合衆国における最大規模の遊戯機械の設計、製造、施工を行う会社であり、特に圧縮空気を用い加速速度をあげるジェットコースターやタワーライド等に強みを有します。日本でも大手遊園地に多くの納入実績を有しており、また近年中国を中心に事業を拡大しております。当社は同社を子会社化する事により、あらゆる種類の遊戯機械を製造できる体制を整えることが可能になります。

当社は、今後S&Sを子会社とすることで永年に亘り築いてきたお客様・お取引先との信頼関係を背景とする営業基盤を強化し、海外市場への事業規模の拡大が可能であると判断し、S&S株式を取得することに致しました。

(取得株数、取得後の所有株式の状況及び1株あたりの取得価額)

①異動前の所有株数(注1)	48,438株(14.2%)
②取得株数	226,379株(77.3%)1株あたりの取得価額38.05ドル
③異動後の所有株数(注2)	226,379株(77.3%)

(注1)平成24年7月27日に第三者割当増資により取得した株式48,438株は、今回の既存株式の取得と同時に、S&S社による買入消却を実施する予定です。

(注2)「③異動後の所有株数」には、上記を除いた株数及び所有割合を記載しております。

(企業結合日)平成24年11月6日(火)